
◆ はじめに

大樹町では、東側と南側に太平洋が広がっている地勢の優位性を活かした「宇宙のまちづくり」を30年以上にわたり進め、平成7年に1,000mの滑走路を有する多目的航空公園の整備、平成20年に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）の実験施設が整備されるなど、ロケット射場を含む北海道スペースポート構想を見据えたまちづくりを進めている。

一方、大樹町を含む十勝の海岸沿いの自然環境は、環境省により当縁湿原をはじめとする「十勝海岸湖沼群」を「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」として選定され、北海道自然環境保全指針においては「保全を図るべき自然地域（すぐれた自然地域）」に指定されている。また、国際的な鳥類保護組織バードライフインターナショナルにより、タンチョウ繁殖地・ガン類渡来地としての重要性から、十勝海岸湖沼群・十勝川下流域を「重要野鳥生息地 IBA」として選定され、自然環境の貴重性も認識されている。

本報告書は、地方創生推進交付金を活用した『宇宙のまちづくり推進事業』において、3ヵ年にわたり「大樹町多目的航空公園を活用した地域活性化方策及び施設整備検討調査並びに環境影響評価の実施業務検討」業務成果である。大樹町が30年以上にわたり進めてきた「宇宙のまちづくり」が、既存施設の利活用や新規施設整備により、町内での宇宙開発が活発化し、今後期待される宇宙産業とともに町の既存産業の活性化、周辺に分布する貴重な自然環境との共存・共生を目指してとりまとめた。

大樹町

1. 業務概要

(1) 業務名

大樹町多目的航空公園を活用した地域活性化方策及び施設整備検討調査並びに環境影響評価の実施業務

(2) 業務対象場所

北海道広尾郡大樹町

(3) 履行期間

履行期間は以下に示すとおりである。

平成 28 年度	自：平成 29 年 1 月 10 日	至：平成 29 年 3 月 31 日
平成 29 年度	自：平成 29 年 5 月 23 日	至：平成 30 年 3 月 31 日
平成 30 年度	自：平成 30 年 4 月 12 日	至：平成 31 年 3 月 31 日

(4) 発注者

大樹町企画商工課 航空宇宙推進室
〒089-2195 北海道広尾郡大樹町東本通 33 番地

(5) 受注者

日本工営株式会社 札幌支店
〒060-0005 北海道札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 2 番地 札幌センタービル